

令和4年度第2回大阪府企業立地促進補助金審査会（府施策との整合性審査）

概要

日時	令和5年1月13日（金）13時40分から16時55分まで		
場所	大阪府咲洲庁舎25階会議室（大阪府が指定するWeb会議室）		
案件	4件		
審査委員	京都大学 大学院工学研究科 化学工学専攻 教授	河瀬 元明（会長）	
（敬称略）	左川中小企業診断士事務所 中小企業診断士	左川 睦子	
	追手門学院大学 地域創造学部 地域創造学科 教授	藤原 直樹	
	武庫川女子大学 経営学部 経営学科 専任講師	山下 紗矢佳	

【審査項目（6項目）】

・府内投資促進補助金（産業集積促進地域における工場等）

- 1 立地する事業所で実施する事業内容
 - （1）雇用の拡充
 - （2）生産性・効率性の向上度
- 2 立地する事業所の機能・役割
- 3 立地企業の経営基盤等
 - （1）経営基盤
 - （2）経営改善や人材育成等の取り組み状況
 - （3）事業実績

【1】株式会社 GWE による事業計画に係る府施策との整合性審査

- （1）事業概要
 - 工業用ゴム製品製造業の工場の立地
 - 立地場所／敷地面積／延べ面積 岸和田市丘陵土地区画整理事業地内／
1,257.26 m²／652.00 m²
 - 補助対象経費／補助金額 約 1.66 億円／16,649,000 円
- （2）補助金の種別 …… 府内投資促進補助金（産業集積促進地域における工場等）
- （3）審査結果：補助事業者として適当であると認定
 - 審査方法
 - ・各委員が審査項目（6項目）を5段階評価（5点満点）し、平均評価点が7割以上を満たすこと
 - 審査結果
 - ・各委員が評価した結果、評価点の平均が **25.25点（30点中）** であり、平均評価点が7割以上となった
 - 委員の主な所見
 - ・全体的に堅実な経営をされている印象があった。これから新たな工場にて雇用を増やしていく中で、どのように人材を確保し育成されていくのかについて気になった。
 - ・自社技術で大手企業との良好な取引があり、生産量が増大してきたことに対応した工場の新設と雇用の拡充計画となっている。設備導入、受注の計画も堅調で、実

現性が高いものと思われる。労働環境改善も期待できる。補助する意義あるものと認める。

- ・技術力を活かした積極的な取り組みが期待できる。取引先からの投資も含めた大きな投資である。今後確実に取引を継続させ、拡大させるために、自社の技術力、品質管理力を今以上に高めて欲しい。従業員の雇用については、柔軟に生産対応できるような人員確保をされているとのことだが、収支のバランスを考慮しながら、従業員の雇用確保に取り組んで欲しい。
- ・製品の取引(納入)先も多く、堅実に経営されている。今回の新規投資についても事業計画の達成が見込まれる。

【2】株式会社島川製作所による事業計画に係る府施策との整合性審査

(1) 事業概要

- 工業窯炉製造業の工場の立地
- 立地場所／敷地面積／延べ面積 枚方市大字津田／5,011.00 m²／1,644.53 m²
- 補助対象経費／補助金額 約 5.08 億円／30,000,000 円

(2) 補助金の種別 …… 府内投資促進補助金(産業集積促進地域における工場等)

(3) 審査結果：補助事業者として適当であると認定

- 審査方法
 - ・各委員が審査項目(6項目)を5段階評価(5点満点)し、平均評価点が7割以上を満たすこと
- 審査結果
 - ・各委員が評価した結果、評価点の平均が **22点(30点中)** であり、平均評価点が7割以上となった
- 委員の主な所見
 - ・自社の10年後にあるべき姿をしっかりと描き、その達成のための開発型企業としての成長を見込んだ投資である。自社の強みとSDGsなどの外部環境を見据えた取り組みは期待できる。一方で、将来の受注の確実性については不安が残るため、自社の強みを対外的に発信する仕組みをしっかりと作り、新規受注獲得に取り組んで欲しい。
 - ・今後理系出身者を確保していくということだが、どのように人材確保・育成を進めていかれるのかが課題になるのではないかと感じた。
 - ・工場スペースの不足から受注量が制限されていたものを、近隣に新工場を建てて一体的に運用することで大規模化し、生産量を増やそうとするもので、単純な拡充計画であるが、社会環境の変化を把握し、課題を捉えて改善策を立案しており、計画通りに進めば発展が望める。求人策のさらなる検討は望みたい。
 - ・手狭な工場を拡大することで、生産性、受注能力を高める投資であり、労働環境の改善や今後の採用拡大の見込みも示されている。

【3】Cross Industry 株式会社による事業計画に係る府施策との整合性審査

(1) 事業概要

- 他に分類されないプラスチック製品製造業の工場の立地
- 立地場所／敷地面積／延べ面積 岸和田市岸之浦町／3,818.00 m²／4,554.00 m²
- 補助対象経費／補助金額 約 3.27 億円／30,000,000 円

(2) 補助金の種別 …… 府内投資促進補助金(産業集積促進地域における工場等)

(3) 審査結果：補助事業者として適当であると認定

○審査方法

・各委員が審査項目(6項目)を5段階評価(5点満点)し、平均評価点が7割以上を満たすこと

○審査結果

・各委員が評価した結果、評価点の平均が**21.25点(30点中)**であり、平均評価点が7割以上となった

○委員の主な所見

・中国の関連会社のもと安定的な経営を行っている。日本企業への安定供給に向けた生産拠点の役割を果たすことは確実であると思われる。

・関連会社の製品販売先のある日本に工場を建設し、同社からの業務委託を受けて生産することから業務を開始し、将来は日本企業との直接取引を計画されている。関連会社からの工場建設費の支援と始動後の受注が確約されており、計画に実現性がある。海外からの投資促進の意義も認められる。

・主要取引先である関連会社との密接な関係性に基づく取引規模は、今後の経営において安心できる材料である。一方、1社依存のリスクについても検討していく必要があるように思われる。

・中国の製造会社で製造していた製品を、日本国内で製造し、国内顧客への納期、価格面での付加価値を提供する取り組みである。現在のビジネスモデルは、関連会社無くては成り立たないため、今後は Cross Industry 株式会社としての独自性のある取り組みも考慮して欲しい。人材面では、短期間での大幅増員であるため、人材マネジメント面に取り組むことが必要である。日本人従業員、国内取引先との取引、関係構築についても十分に配慮して欲しい。

【4】株式会社高速オフセットによる事業計画に係る府施策との整合性審査

(1) 事業概要

○オフセット印刷業の工場の立地

○立地場所／敷地面積／延べ面積 堺市堺区緑町／2,565.00 m²／865.12 m²

○補助対象経費／補助金額 約 7.50 億円／30,000,000 円

(2) 補助金の種別 …… 府内投資促進補助金(産業集積促進地域における工場等)

(3) 審査結果：補助事業者として適当であると認定

○審査方法

・各委員が審査項目(6項目)を5段階評価(5点満点)し、平均評価点が7割以上を満たすこと

○審査結果

・各委員が評価した結果、評価点の平均が**26点(30点中)**であり、平均評価点が7割以上となった

○委員の主な所見

・大型設備の導入で印刷物製造の効率化、精度向上を行うだけでなく、新しいパッケージ印刷などに取り組むという計画は期待できる。新設備の導入で、環境配慮した印刷への対応もでき、株式会社高速オフセットの取り組みとしてもアピールできる。受注確保を確実にするための取り組みをしっかりと行って欲しい。

- 片面印刷機3台中2台を更新して大型高速枚葉式両面印刷機を導入するために、建屋を増設する計画である。熱風乾燥の印刷物を LED-UV 乾燥に転換すること、両面同時印刷による時短から省エネ化、低コスト化ができるものとなっており、生産性、効率性の向上が期待できる。省力化を上回る受注増が見込まれており、雇用の拡充になる。労働環境改善にも取り組まれており、補助するに値する計画と認める。
- 今後、小ロット化により多種多様な印刷を行ったり、新たな印刷物に着手したりしていく中で、計画通りの受注が進められるかどうかは課題だと思われる。価格競争の激しい業界だと思われるため、価格競争に陥らないような差別化が必須である。
- 印刷物のニーズ変化に対応した新規設備の導入であり、都市型産業の地域再投資として意義のある取り組みである。